

目標達成計画

作成日：平成22年6月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	献立のメニューが連続する等偏りがある。	メニューが連続しない様、バランスを考えて提供する	前日の献立メニューを確認してメニューが重ならないようにする。バランス良く摂取できるように提供する。	1ヶ月
2	36	利用者さんと馴染みの関係になりすぎて敬意を示す言葉でない時がある。	利用者さんに合わせた言葉づかいをする	馴染みの関係を保つよう、方言もまじえながら年長者という事を忘れないように声かけをしていく。数ヶ月に1回は基本の声掛けを忘れないよう会議を開いて見直していく。	2ヶ月
3	35	ケアプランの内容が細かくないので他の人が見て細かい支援方法が分かりにくい。	誰が見てもわかりやすいケアプランを作る	ニーズや短期目標を細かくしていき、サービス内容を見て皆が同じ方向で支援していけるように作る。	6ヶ月
4	26	昨年は地区の消防団や自警団に参加して頂いたが、近隣の方の協力が得られていない。	近隣の方の協力が得られる	毎年変わる自警団・消防団のところに挨拶に行く。9月にある地区の防災訓練にも参加し、協力が得られやすい関係を築いていく。	3ヶ月
5	33	重度化や終末期の説明がほぼ口頭だけなので、具体的に家族が理解できていない。	重度化、終末期の対応を職員、家族間で共通理解できるようにする	重度化や終末期について、どう考えているのかを職員間で話し合い方向性を決める。基本的な対応や、環境については文章で表し家族に理解して頂く。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。